

時代の変化に適応し、自らを進化させる

三菱重工業(株)
ターボ事業部 技術部 実験サービス課
実験チーム 上席主任チーム統括

茂野 義規氏 (高校51期)



1999年 立川高校卒業
2004年 東海大学 工学部 航空宇宙学科を卒業
2007年 首都大学東京大学院 工学研究科 機械工学専攻を卒業
2007年 三菱重工業(株) 汎用機特車事業本部 ターボ技術部へ入社

立高時分

野球部に所属しており、部活に明け暮れた毎日でした。
朝練で汗を流し、授業の合間にオニギリを食べ、バリカンで髪を切り合ったり、日野駅まで行って坂ダッシュして、木崎湖の合宿では事件もあり、まあ色々あってどれも良く覚えています。
部活中心で、勉強が疎かになった時は、試合で使ってもらえないことも経験し、文武両道を思い知った瞬間もありました。
秋の大会でブロック優勝し、本大会では、日大二高を破りベスト8になりました。
現役引退後には6大学野球のセレクションへ挑戦しましたが、鈍った身体では打球も飛ばず、一次選考で落選。
これもいい思い出です。(僕は松坂世代です)

仕事

ターボチャージャ(過給機)のエンジニアです。三菱重工としては珍しい中量製品です。
グローバルで700万台/年も生産される製品で、最終顧客は主に完成車メーカーとなります。
入社以来、研究開発(2年)／設計顧客対応(6年)／実験評価(6年)を担いました。



ターボチャージャのイメージ



高級完成車メーカーの写真

顧客担当の時期は海外出張も多く、短期ながらオランダ駐在も経験しました。
英国の某高級完成車メーカーのターボチャージャは僕が設計担当したもので、自慢です。
その他にも、皆さんが乗っている車の過給機も僕が担当したものがあるかもしれません。
現在は、実験評価部門を担当しており、顧客へ提供する製品の実機検証や作り込みを行っています。

立高生へのメッセージ

僕が社会に出た時代は、内燃機関ダウンサイジングやCO2削減といったグローバル社会の追い風があり、製品事業は急拡大しましたが、今のVUCA (※)時代は、「自分達で市場や需要を創り出し差別化する」ことが企業／個人として生き残るためには必要です。
そのためには、マインドセットを実践しながら、短期間でベクトルを決め実行するアジャイル開発が有効な手段だと思います。

元プロ野球選手 松井秀喜さんの恩師の言葉

「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。

習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる」

心を変えるためには、「自分事として捉え、一人称で考えて行動する」ことが肝要だと思っています。

心を変えるのは大変。なら意識して行動から変えてみよう。ということです。

これから社会へはばたく皆さんには、「スピード感を持って、自分がやる、自分でやる」という意識を持ったプロフェッショナルになって欲しいと思います。

※VUCAとは: 先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態
Volatility: 変動性 Uncertainty: 不確実性 Complexity: 複雑性 Ambiguity: 曖昧性
の頭文字をとった造語

最後に

野球部の同僚と定期的集まっては、当時の話や仕事の話で盛り上がっています。
同じ釜の飯を食い、苦楽を共にした仲間との絆は何にも代え難い貴重な財産です。
そして現在は、OBチーム(マスターズ立川)で、先輩後輩同期と野球をやっています。
念願の甲子園にも2回行きました！
「立高で良かった」と、この文書を書きながら、改めてそう思えました。



マスターズ立川の面々
2016年ころ@横浜スタジアム